

男1 福岡県 vs 京都府

開催場所	東京体育館TA	開始時間／終了時間
試合区分	男1	主審
開催期日	2016年03月29日	副審



テーブルレポート

福岡県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小川 麻斗	12	0	5	2	3
5		田邊 優輔	0	0	0	0	0
6		西村 仁	0	0	0	0	2
7	*	高木 寛大	8	0	4	0	1
8		松本 宗志	0	0	0	0	0
9		松本 克己	0	0	0	0	0
10		原田 大和	0	0	0	0	0
11	*	黒川 虎徹	17	1	6	2	2
12	*	田邊 太一	5	0	1	3	3
13	*	日高 健太	5	0	2	1	4
14		岩橋 史門	6	0	3	0	0
15		松村 竜吾	0	0	0	0	1
HC 篠原 重治/ TEAM							0
合計		53	3	42	8	16	

京都府

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	横井 裕史	0	0	0	0	0
5		吉庄 大海	0	0	0	0	0
6		池口 悅生	0	0	0	0	1
7	*	井ノ元 孝太朗	14	2	4	0	1
8	*	薮田 陽大	18	0	8	2	2
9	*	松野 圭恭	11	1	4	0	2
10	*	北川 舞	2	0	1	0	1
11		石野 風太	2	0	0	2	2
12		矢場 祐貴	2	0	0	2	0
13		豊島 駿也	0	0	0	0	0
14		阿形 凉真	0	0	0	0	0
15		安田 力哉	0	0	0	0	0
HC 横山 公彦/ TEAM							0
合計			49	9	34	6	9

S スターター PTS 総得点 3P 3ポイントシュート 2P 2ポイントシュート FT フリースロー F ファウル

レポート

第3試合、福岡対京都。インサイドの高さはほぼ互角の両チーム。第1ピリオド、福岡は#11、#7のミドルシュートで着実に加点し、出だしのリズムを先につかむ。残り2分、12-4と差を広げられたところで、京都は1回目のタイムアウト。その後リバウンドを頑張り17-12と京都が盛り返して終了。第2ピリオド、京都はセンターを使ったスクリーンからのセットオフェンスで#7、#9がシュートを放つがなかなか得点につながらない。一方福岡は#4の力強いドライブインや多彩な1対1で着実にリードを広げていく。残り3分、25-12とリードしたところで京都は2回目のタイムアウト。その後も攻守でリバウンドやシュートブロックで福岡#14がゴール下で頑張り、前半を30-18福岡リードで終了。後半、第3ピリオド立ち上がり、京都はセットプレーをきれいに決めて幸先よくスタート。続く#7の3Pシュート、#9のゴール下など一気に7点を奪い徐々にその差をつめていく。その後も#9の3Pシュート、ドライブインなどで追い上げるも、福岡は#11の落ち着いた1対1で反撃を食い止める。京都は福岡#4にフェイスガードしてオフェンスのリズムをつかませない。10点リードで迎えた第4ピリオド。お互いのシュートが決まらず3分間ノーゴール。残り3分48-41と京都が追いってきたところで福岡タイムアウト。あけてすかさず福岡の速攻が決まったところで今度は京都がタイムアウト。その後一進一退の攻防から京都に4点差まで詰め寄られるも、リードを守りきった福岡がベスト8進出を決めた。チームプレーに徹し、最後まで諦めなかつた京都の健闘を称えたい。